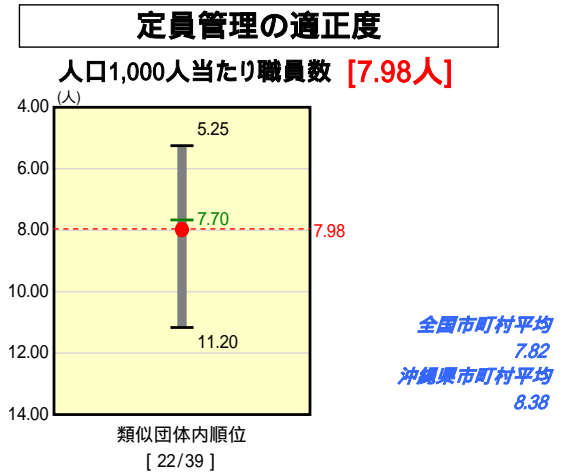
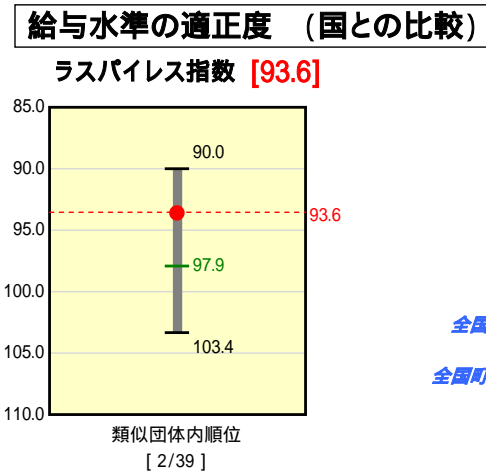
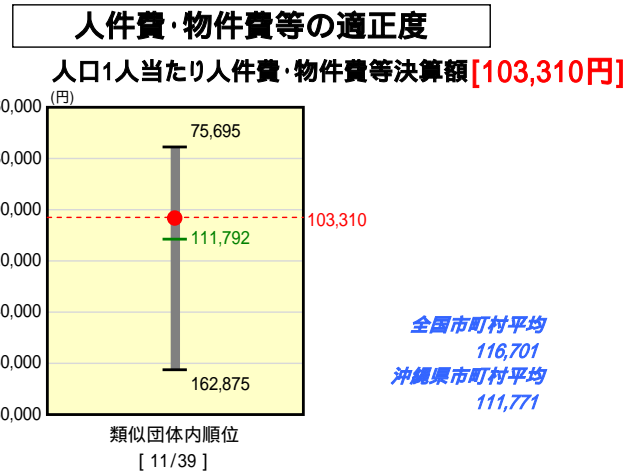
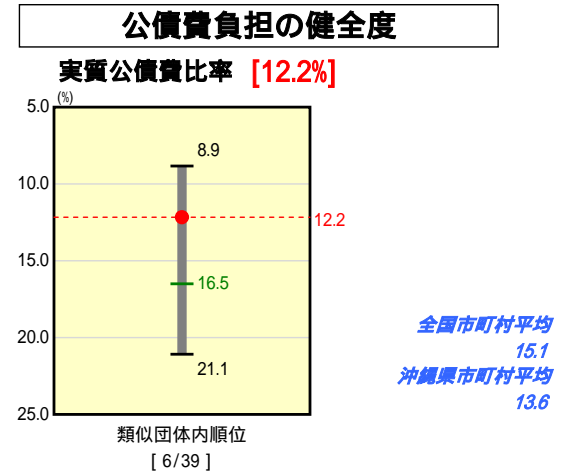
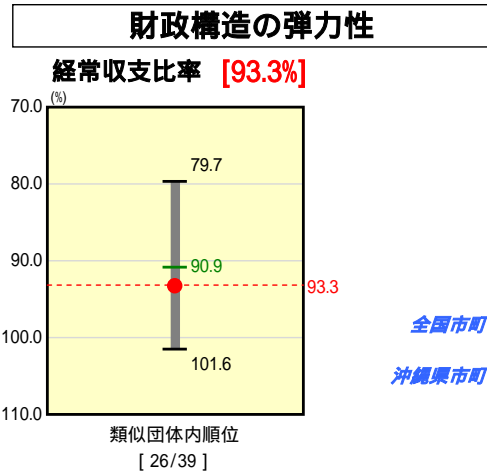
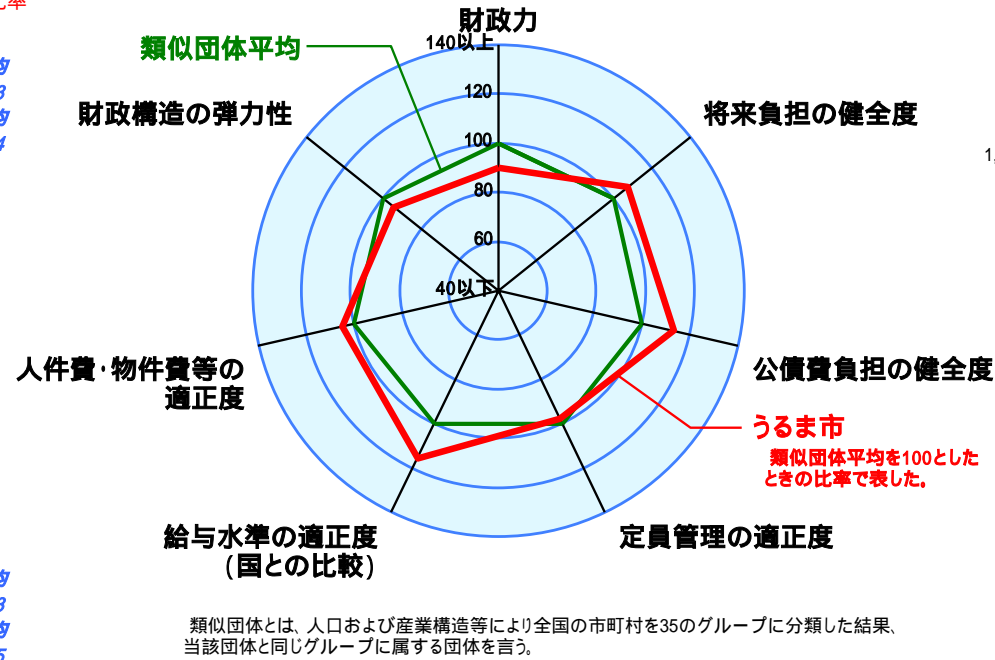
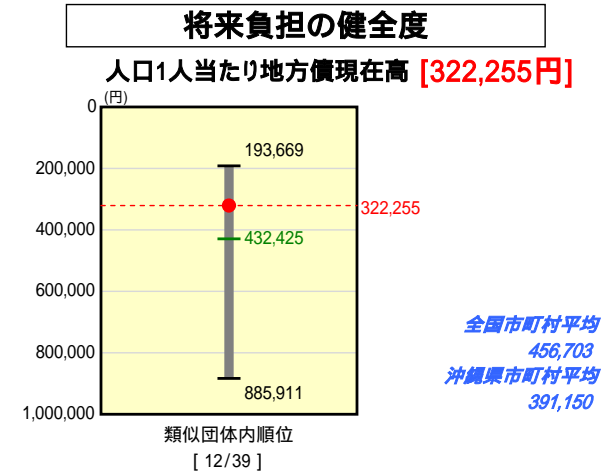
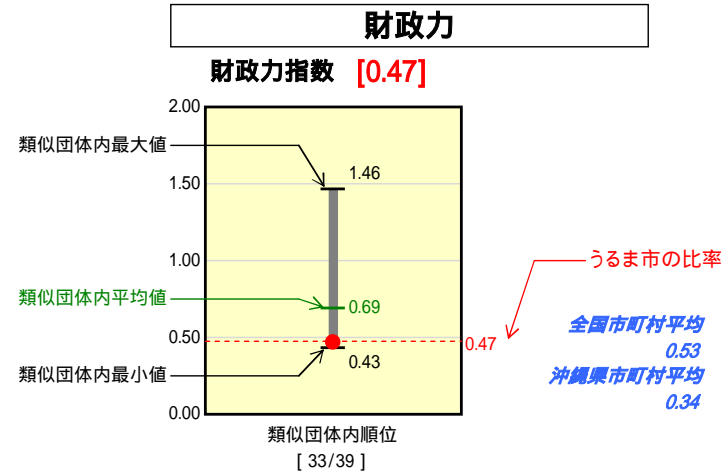


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

沖縄県 うるま市

人口	116,573人	(H19.3.31現在)
面積	86.01	km ²
歳入総額	44,712,412	千円
歳出総額	43,217,492	千円
実質収支	1,221,564	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
平成17年4月1日合併によりうるま市となり、財政基盤の強化が図られているところである。新市として、定員適正化計画(17年度～21年度で10.8%減)を着実に実施し、地方税の徴収強化等の取組みを通じて、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
経常収支比率が類似団体の平均を上回っている要因は、扶助費の増が挙げられる。今後、生活保護費などの資格審査等の見直しを進め増加傾向に歯止めをかけるよう努める。また、人件費が類似団体と比べ比較的高い水準にあるため、定員適正化計画を着実に実施する。

人件費・物件費等の適正度
人件費・物件費等は類似団体平均に比べ下回っている。今後、行政改革大綱に沿って定員適正化計画等を推進し、事務事業全般にわたって、民間委託を推進し、賃金、需要費、委託料などを抑制に努める。

ラスパイレース指数
平成19年度のラスパイレース指数は93.6%で、全国市平均に比べ 4.3ポイントとなっている。今後も給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を下回っているが、今後、合併で大型の整備事業が集中したことに加え、学校建設や総合庁舎等の建設を控えており、公債費の負担が年々増加傾向になっていく。今まで以上に行政改革を推進し、新規起債発行の抑制を行い、財政の健全化に努める。

公債費負担の健全度
類似団体平均を下回っているが、今後、公債費の負担が年々増加傾向になっていく。今まで以上に行政改革を推進し、新規起債発行を抑制を行い、財政の健全化に努める。

定員管理の適正度
定員適正化計画に基づいて、職員の定員管理を実施している。平成18年度末は、類似団体を上回っている。これは、平成17年度に合併し旧市町の職員を引き継いだことが要因であると考えられるが、今後は、職員の削減を行い改善される見通しである。